

# 2020(令和2)年度 事業報告

NPO行徳自然ほごくらぶ

例年同様、水鳥をはじめとする野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元を中心に活動しました。新型コロナウイルスの影響により多くの行事・イベントが中止又は縮小開催となりました。市川市行徳野鳥観察舎(あいねすと)は本年度10月に正式開館となりました。新観察舎の管理運営からは外れること(市川市直営)による混同を避けるため、野鳥以外の行徳保護区の魅力を広く伝えていくため、1月より会の名称を行徳野鳥観察舎友の会からNPO行徳自然ほごくらぶへ改称しました。

会員数(2021年4月1日現在)普通71名・ジュニア2名・電子13名・賛助83名・運営16名 合計185名

2020年度のおもな活動内容 ◆は今年度新規・初参加の活動

※【】内はその活動に関する決算報告書財務諸表の注記2.事業別損益の状況における支出項目を示しています。記述のないものは管理部門に含まれています。

## 1 自然保護の意義と知識の普及啓蒙に関する活動【観察会等事業費】

### 1-1. 行徳鳥獣保護区利用者等の対応 ※5-1. に関連項目

- ・保護区内や観察舎周辺等の案内・解説(団体利用・小中学校総合学習対応等含む)  
団体利用18件888名(内小学校7校701名、保護区案内5団体70名)  
[前年度団体利用28件1124名(内小学校4校548名、保護区案内5団体211名)]
- ・実習生受入(2校45名) [前年度5校18名]

### 1-2. 自然観察会等の開催

- ・定例新浜探鳥会(毎月第2日曜)延べ0名参加 [前年度延べ312名]  
※日本野鳥の会東京支部、千葉県野鳥の会との共催。今年度開催せず。
- ・夕暮れ観察会(毎月第4土曜)7回開催延べ36名参加 [前年度10回開催延べ83名]
- ・平日観察会(原則毎月第1木曜)7回開催延べ55名参加 [前年度10回開催延べ77名]
- ・ミニガイド(行事のない土曜)1回開催3名参加 [前年度1回開催7名]

#### その他行事

- ・江戸前干潟研究学校 12回延べ112名参加[前年度12回202名]【助成金事業】 ※3-2. に関連項目
- ・フィールドミュージアム 3回延べ40名参加[前年度6回59名] ※行徳生物多様性フィールドミュージアム研究会との共催
- ・巣箱教室(12月6日7名)[前年度10名]

### 1-3. 自然観察会・各種イベントなどへの参加・協力・出展、講師派遣

- ・市川駅南口図書館ギャラリー展示(8月1日～8月30日)
- ・東京湾大感謝祭2020 出展協力(東京湾官民連携フォーラム東京湾の窓PT)(10月オンライン開催)
- ・ジャパンバードフェスティバル2020 出展(11月7・8日オンライン開催)
- ・いちかわエコギャラリー 出展(1月6日※開催中断)
- ・へんなハゼ展&おさかなグッズ 展示協力(3月23日～3月28日) ◆

## 2 生物の良好な生息環境の確保、保全、改善および復元に関する活動

### 2-1. 市川市および周辺地域における各種会議等での発言・提言

- ・江戸川放水水路水面等利用者協議会(1月書面開催)
- ・市川市生物多様性モニタリング調査(市川市HPいち案内いちかわ生きものマップ情報提供)

### 2-2. 行徳鳥獣保護区の野生生物の生息環境の改善・復元のための活動

- ・会員によるボランティア作業(随時) ※5-2. に関連項目含む

### 2-3. 他団体との協力・意見交換

- ・トビハゼ保全 施設連絡会参加(湾岸地域自然観察施設等連携によるトビハゼについての調査・情報交換・普及啓発活動)
- ・東京湾官民連携フォーラム「東京湾の窓PT」参加 (PTメンバーとして東京湾大感謝祭2020出展参加・協力)
- ・CSR活動対応:三菱電機 東京湾自然保護プロジェクトとして保護区管理作業を企画 ※本年度は雨天・新型コロナで開催できず
- ・すずがも通信デジタルアーカイブ事業:市川市市川駅南口図書館指定管理者ヴィアックスと会報バックナンバーWEB公開計画開始

## 3 野生生物についての調査および研究に関する活動

### 3-1. 野生生物の生息調査および研究【調査研究事業費】

- ・県内サギ類生息状況調査(繁殖地現況・予測調査、ねぐら入り調査、標識調査、情報収集)
- ・九十九里海岸コアジサシ・シロチドリ繁殖状況調査
- ・ユリカモメ標識調査
- ・鳥類カウント 行徳鳥獣保護区・新浜鴨場・江戸川放水水路・三番瀬市川側各年3回、市川市北部1回
- ・環境省モニタリング1000 シギ・チドリ類調査協力
- ・保護区植物調査(植物班)【助成金事業】
- ・保護区昆虫調査(昆虫班)【助成金事業】
- ・保護区キノコ調査(キノコ班)【助成金事業】
- ・保護区哺乳類調査(哺乳類班)
- ・三島池汽水化実験(東邦大・茨城大・友の会)
- ・保護区海苔調査(福田武司さん(福田海苔店)・友の会)

### 3-2. 「江戸前干潟研究学校」の実施 【観察会等事業費】

- ・月1回、保護区水域で定置網等を利用した水生生物調査イベント  
(講師:風呂田利夫さん。公開調査4回、自主調査8回。今年度は92種を採集・観察)

### 3-3. カワウに関する調査

- ・行徳鳥獣保護区内繁殖状況調査
- ・千葉県「千葉県カワウ生息状況等調査業務」(7・12・3月)【収益事業費】

## 4 傷病野生生物の保護および救護に関する活動 ※5-1. に関連項目含む

- ・傷病鳥救護、問合せへの対応など
- ・禽舎解説パネルなど掲示物の作成
- ・「Yahoo!ボランティア」インターネット募金活動、イオン南行徳店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」登録団体
- ・会員等によるボランティア作業(随時)

## 5 千葉県行徳野鳥観察舎および行徳内陸性湿地の管理および運営に関する活動 【収益事業費】

### 5-1. 千葉県「行徳鳥獣保護区管理運営業務委託」

- (1) 普及啓発・周知広報等業務
  - ・定例園内観察会指導 (毎週日曜・祝日)32回開催延べ607名参加 [前年度60回実施延べ790名]
  - ・ボランティア指導(ボランティアデー毎月第4土曜)6回開催・延べ59名参加 [前年度10回開催延べ56名]
  - ・行徳鳥獣保護区HP(<http://suzugamo.seesaa.net/>)の作成・更新
  - ・取材・問合せ対応:新聞・雑誌等7件 [前年度3件]
- (2) 傷病鳥の救護と施設の管理
  - ・傷病鳥受付、台帳整備、治療、給餌給水、看護、回復訓練、放鳥、傷病棟の管理清掃、  
収容鳥の健康管理、餌場手入れ補修 入所48種171個体・放鳥等91個体 [前年度入所57種209個体・放鳥等112個体]
- (3) その他施設維持管理・清掃業務
  - ・清掃、除草、軽微な修繕等

### 5-2. 千葉県「行徳鳥獣保護区管理運営業務委託」

- (1) 保護区利用対応
  - ・保護区案内5団体70名 [前年度5団体211名]
- (2) 保護区施設維持管理
  - ・観察路・観察壁維持管理、巡視点検、清掃・除草・植栽整備
- (3) 野鳥等誘引
  - ・営巣場所整備(除草等)、カワウコロニー管理

### 5-3. 千葉県「行徳湿地保全事業湿地環境改善・維持管理業務委託」

- 内陸性湿地帯を良好な状態に保ち、野鳥を誘致するための環境維持・改善・野鳥保護事業
- ・水管理
- ・湿地環境改善・維持管理

### 5-4. 千葉県「行徳湿地保全事業水質・鳥類継続的調査業務委託」

- 内陸性湿地帯管理に役立てるため水質調査・鳥類調査
- ・水質調査(表層水10地点・2回/月、底泥水5地点・1回/隔月)
- ・鳥類調査(内陸性湿地帯 ラインセンサス及びマッピング週1回及び観察舎周辺定点月2回)
- ・鳥類標識調査 (10~3月)

## 6 この法人の活動についての広報に関する活動

### 6-1. ・会報「すずがも通信」発行(年6回偶数月第2日曜日)

## 7 このほか、この法人の目的を達成するために必要な活動

### 7-1. インターネット等での活動紹介、行事案内等

- ・会Webサイト・ブログ・Facebook・Twitter・Instagram等での情報発信
- ・市川ボランティアNPOweb、行徳新聞等へのイベント情報案内
- ・Facebookグループ「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」参加・投稿 ◆

### 7-2. 行徳野鳥観察舎友の会インターン制度の実施 【インターン事業費】

※本年度募集せず

### 7-3. 職員研修 【観察会等事業費】

- ・モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査インターネット講習会2020受講(11月28・29日) ◆
- ・モニタリングサイト1000ガンカモ類調査インターネット講習会2020受講(12月12・13日) ◆